

現場社員のための組織行動力向上

コースのねらい

企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 企業組織と生産活動 状況変化に対応する現場力	(1) 企業経営と組織(講義とワークショップ) ・経営とは何か(経営の目的) ・理念と経営の関係 ・CS、ESと財務の関係 (2) 生産活動の目的と目標(講義とワークショップ) ・価値前提と事実前提の違い ・企業活動の目的は顧客価値の向上 ・自社の顧客について考える ・目標管理の目的(目的と目標の関係) (3) 経営者の視点とコスト感覚(財務諸表の見方) ・経営分析(定量分析)の目的 ・BS、PLの基本 ・財務分析の項目と進め方 ・損益計算書によるコスト分析(コストの見方) (4) 現場力を高めるための要素 ・3現、3MIに着目する ・職務行動を高めるためのAKS(能力向上の3要素)について	7.0
	2 状況変化に対応する現場力 フォロワーシップと組織行動力	(1) 現場の問題発見と改善姿勢(講義と演習) ・問題点、課題抽出の技法 ・課題解決の技法 ・上記技法を活用した課題解決に向けた行動計画の作成 (2) 専門性向上の必要性(講義と演習) ・キャリア形成の重要性 ・診断シートによるキャリア自己診断 ・キャリアプランの作成 (3) 組織行動力に直結するフォロワーとしての役割 ・フォロワーシップとは ・リーダーシップとフォロワーシップの関係 ・フォロワーとしての姿勢とフォロワーシップ発揮のポイント	8.0
合計時間			15.0

カリキュラムのポイント

組織活動の最終成果である財務の結果をもとに、現場社員としての現場力を高めるための課題解決の手法の体得、自身の能力向上の必要性和そのためのキャリア形成プランを持つこと、フォロワーシップを発揮することが企業価値の向上につながることを学んでいただきます。